資料１

国府地域振興未来会議にて委員の皆様にいただいたご意見について

	ご意見	現在の取り組み／方向性
地域資源を活かした賑わいづくり	SNSの活用など情報発信が必要	・「万葉まちづくり特命チーム」によるインスタの更なる活用 ・高岡市開催の朗唱の会にて国府町の情報を発信（YouTube） ・「国府町みどころ観光マップ」を公共施設を中心に配布 ・発信方法等について研究し積極的な広報を図る。
	国府の人は国府を観光地として人を増やしたいと思っているのか	国府町には、多くの文化財や史跡、雨滝などの観光素材が存在しています。地域の観光資源を活用し地域に賑わいをもたらすことは必要と考えています。
	スポット的にはいいものかもしれないが、点で終わり線でつながらないし、他に行くところもなく残念に終わっている。	国府町観光協会、国府ガイドクラブ等関係団体と連携を図りながら、滞在・周遊に向け検討を行います。
	神社・雨滝など旅行会社にプランに加えてもらい活性化してはどうか	雨滝復旧に関する情報を県内外へ発信し、来訪者の拡大を図ります。 9/9大阪市、9/10港区で開催される観光情報説明会・商談会にて各地旅行会社へ「国府町みどころ観光マップ」を提供し、国府町をPRします。
地域農業の振興	休耕地が増えているので何とかしたい	令和７年３月に策定した「地域計画」に基づき、農地の集積・集約による低コスト・合理化を図り農地の有効利用を図ります。 規模拡大による機械の大型化、農作業の効率化や省力化を図るとともに、新規就農や経営継承を促進し、担い手の確保を図る。 獣害被害も増えており、関係機関が連携し被害防止に取り組んでいきます。
	大型機械が入れるような区画に整備して作れるようにしたい	
	獣害対策をしないといけない	
	移住してきて農業をしてもらえる人があればいい	
	お米の流通ルートの開拓	
持続可能な地域づくり	国府として外からの移住者を増やしたいと思っているのか	少子・高齢化に加え人口減少が進行している状況から、地域活動基盤の確保を図るため人口増に係る施策は重要と考えています。
	新しい人が入って来ても排他的でない動きが必要	
	国府に住み続けるのに働く場所と魅力がない	
	地域の子どもとお年寄りの交流があると魅力的	各イベント、公民館事業等にて世代間交流の場を提供します。
	住んでいる人が幸せなところを見せることが持続可能な地域づくりにつながる	地域の方々との協働によるまちづくりを積極的に推進します。
	旧児童館・旧小学校・体育館、プールなど未利用施設の活用ができないか	既存・未利用施設等の利活用に向け地域住民との「ワークショップ」を令和８年度に実施予定です。
生活交通基盤の強化	奥の高齢者は交通手段がないと困っているので、曜日を決めてでも交通の手助けの方法があればいい	日の丸バスと乗合タクシーの予約運行により、地域内の公共バスのカバー率は高めですが、今後高齢化が進むことにより、減便・廃止の問題が出てくる可能性が高くなるため、地域住民とともに持続可能な交通体系の構築に向け協議を進めます。
	自家用車以外の交通手段が課題	
教育環境の適正化	国府東小単独で成り立つのか心配	国府東小校区内の自治会の代表、学校運営協議会の代表による協議（現状説明）の場を設け、本年中に検討組織が立ち上がるよう校区審議室と連携しながら取り組みます。
	検討組織を立ち上げるのが一番	
	統廃合すると奥に若い人が住まなくなるのではないか	
	国府東小では少人数学級の強みを活かして残す選択肢も入れて考えていかないといけない	
防災力の向上	地域任せになっているので行政と地域が連携をとることが大事	鳥取市地域防災計画により、自助・共助及び公助の体系を構築し、災害に強いまちづくりを推進しています。本計画に記載している内容をより一層分かりやすく市民の方に伝えるよう努めるとともに、連携の強化に努めていきます。